

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千九百四十號

海軍大臣官房

昭和十六年十一月八日(土)

## ○令 達

官房第五六八二號

本年達第三百三十三號潜水艦名變更ノ際舊艦名ノ職名ヲ有スル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ發令ヲ用ヒズシテ新艦名ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十六年十一月一日

海軍大臣

## ○通 牒

軍需衣第二七八號

昭和十六年十月九日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長殿

修補用古被服供給標準改正ノ件通牒

昭和十年軍需衣第三三三號首題ノ件中別紙ヲ別紙ノ通改

海軍公報(部内限)第三千九百四十號

昭和十六年十一月八日

一四七九

正致候

(別紙添)

(参照) 昭和十年軍需衣第三三三號ハ修補用古被服供給標準ノ件ナリ  
(會計法規二卷二六五頁)

艦本機密第三號ノ一〇六一〇

昭和十六年十一月八日

海軍艦政本部長

海軍航空技術廠長

海軍航空技術廠長

横須賀、舞鶴、大湊、鎮海、馬公

九六式空四號無線電信機改造ノ件通牒

首題ノ件左記ニ依リ施行スベシ

記

一、要 領

(一) 航空技術廠長ハ

無線電五、〇〇〇KC乃至一五、〇〇〇KCノ電波

測定可能ナル如ク改造ス

ロ 取扱説明書ヲ改訂ス  
(二) 各軍需部長ハ

兵器名稱ヲ九六式空四號無線電信機改一トス  
二、所要兵器

九六式空四號無線電信機在庫、供用、貸與中ノモノ  
全部

三、完成期  
時期ヲ得次第成ルベク速ニ

四、報告  
改造工事ノ進捗狀況(製造番號、在庫供用及貸與先  
員數其ノ他)ヲ通報スルモノトス

五、費用  
軍事費、造船造兵及修理費、造兵費、修理(空線)  
別途配付豫算内支辨トス

艦本機密第三號ノ一〇六二一

昭和十六年十一月八日

海軍艦政本部總務部長

關係各廳長殿

九六式空四號無線電信機改造ノ件照會

十一月八日艦本機密第三號ノ一〇六二〇號通牒首題兵

器ヲ有スル向ハ至急改造請求方可然取計相成度

○ 辭 令

浦賀監査官ヲ命ス海軍艦政本部造船監 兼須賀海軍工廠造船部部長 兼倉部部長海軍主計中佐 青山 久二

浦賀監査官ヲ命ス海軍艦政本部造船監 督官海軍機關中佐 大崎 行三

浦賀監査官ヲ命ス

兼テ勞務ニ關シ監理長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(計同)

主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(計同)海軍施設本部  
海軍施設本部部長兼海軍 木村 喬  
海軍建築部部長兼海軍技師

○ 雜 款

○將旗一時移揚  
第二根據地隊司令官ハ十一月五日將旗ヲ一時第十九號  
掃海艇ニ移揚、同日宮崎丸ニ復歸セリ

○將旗一時撤去

第三艦隊司令長官ハ十一月五日將旗ヲ一時撤去セリ

○司令艇變更

第二十一驅潛隊司令ハ十月二十四日司令艇ヲ第四號驅潛艇ヨリ第十七號驅潛艇ニ變更セリ

○郵便物發送先

自今當司令部宛書類ハ左記ニ依リ送付相成度

東舞鶴郵便局氣付

軍艦山東丸司令部

(舞鶴防備戰隊司令部)

○事務開始

秋津洲艦裝具事務所ヲ十一月五日神戸市湊東區東川崎町二丁目川崎重工業株式會社内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

第一百海軍燃料廠準備事務所ヲ十一月六日海軍省第三會議室内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

電話省内

七九三 廠長、總務部長  
七九四 各部長

海軍公報(部内限)第三千九百四十號 昭和十六年十一月八日

一四八一

0499

(別紙)

(昭和十六年十一月八日海軍公報(部内限))

修補用古被服供給標準

一、下士官兵現在員百人ニ對シ六箇月毎ニ一回左ノ數量ノ範圍内トス

下士官軍衣(兵軍衣) 八個

下士官軍袴(兵軍袴) 八個

下士官夏衣(下士官夏袴、兵夏衣) 一五個

兵夏袴 八個

下士官軍樂兵夏襦袢(兵夏襦袢、夏袴下) 一六個

兵襦袢 一五個

中著襟 八個

事業服上衣(事業服袴) 二〇個

袴 八個

夏袴 八個

靴 一〇〇組

(備考) 一、括弧内品名ハ代用品トス

二、生徒現在員百人ニ對シ六箇月毎ニ一回左ノ數量ノ範圍内トス

生徒禮衣(生徒禮袴) 一個

生徒軍衣(生徒軍袴) 四個

生徒夏衣(生徒夏袴) 八個

生徒襦袢(兵襦袢) 四個

生徒袴下(兵襦袢) 六個

生徒夏襦袢綾製(下士官軍樂兵夏襦袢) 一〇個

生徒夏袴下綾製(下士官軍樂兵夏襦袢) 五個

事業服上衣(事業服袴) 六〇個

(備考) 一、括弧内品名ハ代用品トス

三、(イ) 特別陸戰隊ニハ現在員百人ニ對シ六箇月毎ニ一回左ノ數量ノ範圍内トス

准士官以上褐青色夏衣(准士官以上褐青色夏袴) 五個

准士官以上褐青色シャツ 五個

下士官兵褐青色夏衣(下士官兵褐青色夏袴) 五個

下士官兵褐青色夏襦袢 一〇個

著色事業服上衣(著色事業服袴) 一〇個

(ロ) 防暑被服、航空作業服(夏用)ノ貸與ヲ受ケ現ニ使用中ノ艦船部隊ニ於テハ供用現在員百人

ニ對シ六箇月毎ニ一回左ノ數量ノ範圍内トス

防暑作業衣(防暑作業袴) 一〇個

整備作業衣袴夏用 三個

(備考) 一、括弧内品名ハ代用品トス

二、本品ハ必要ニ應ジ貸與品ヨリ消耗品古品(修補材料)ニ組替整理スルモノトス

○ 艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ  
指定ヲ要セズ

十一月八日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、高雄

▽伊七、□伊二、伊一、伊三、□伊六、伊四、伊五

驅潛特五三▲

知床、早鞆

【長浦】

伊二九▲、(伊三六)▲、(伊三一)▲

哨一▲

【石川島】

(驅潛二七)

【横濱】

(築紫)▲▲

【浦賀】

(風雲)▲▲

【館山】

澤風

【大湊】

八丈、石垣、國後

沖風、□神風、沼風、波風、野風

哨三四、哨三五

【吳】

淺間▲、八雲▲、初鷹、千代田

▽吳竹、若竹、早苗

伊三〇、□伊一八、伊二二、伊二六、□呂五七▲

呂五八▲、呂五九、伊五二、伊五八、伊六六

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潛八、驅潛七、驅潛九、驅潛一九

驅潛二〇、驅潛二一

哨四六▲、哨三三

佐多、攝津、石廊、野島、間宮

(日進)▲、(伊三〇)▲、(伊一七六)▲

【大阪】

矢風

(卷雲)、(驅潛二四)

【神戸】

(伊良湖)▲、(伊二八)▲、(伊三三)▲、(伊二一)▲

(秋津洲)▲

【相生】

(驅潛三三)▲、(若鷹)▲

【相玉】

伊六〇▲

【佐伯】

摩耶

【舞鶴】

吾妻

薄雲

呂三三

哨三七

鶴見、室戸

【佐世保】

(夕雲)▲、(秋月)▲

北上、▽嚴島、八重山、▽長鯨、飛龍

望月、□睦月、如月、彌生、□菊月、夕月

漣、潮、龍

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲

伊二四、伊二三

驅潛特五一▲

哨二、哨三、哨三九、哨三八

敷島▲

(阿賀野)▲、(伊二七)▲、(伊三三)▲、(伊三四)▲

驅潛特五二▲

檜野

【鎮海】英蓉、朝顔、峯風、刈萱

【作業地】口出雲、宇治、□安宅、二見、伏見、比良、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田

海軍公報(部内限) 第三千九百四十號 昭和十六年十一月八日

一四八三

0501

▷名取、長門、陸奥、嵯峨、橋立、球磨、  
 ▷足柄、磐手、香椎、占守、  
 ▷日向、伊勢、比叡、霧島、古鷹、  
 ▷香取、扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、  
 ▷加古、川内、龍驤、千歲、  
 ▷愛宕、鳥海、妙高、羽黑、那智、熊野、  
 ▷三隈、最上、鈴谷、那珂、利根、筑摩、  
 ▷鹿島、蒼龍、白鷹、蒼鷹、天龍、龍田、  
 ▷夕張、迅鯨、勝利、駒橋、加賀、  
 ▷常磐、阿武隈、五十鈴、赤城、  
 ▷神通、翔鶴、鬼怒、山良、瑞鶴、  
 ▷大井、瑞鳳、多摩、木曾、神威、  
 ▷鳳翔、津輕、  
 ▷村雨、春雨、五月雨、夕立、沙風、帆風、  
 ▷春風、松風、朝風、旗風、大潮、荒潮、  
 ▷朝潮、滿潮、吹雪、峯雲、山雲、夏雲、  
 ▷初雪、白雲、吹雪、白雲、東雲、叢雲、  
 ▷綾波、磯波、敷波、浦波、夕霧、狹霧、  
 ▷天霧、朝霧、若葉、初霜、子日、初春、  
 ▷水無月、文月、皐月、長月、卯月、  
 ▷響、雷、栗、梅、蓮、早潮、親潮、  
 ▷夏潮、黑潮、時津風、初風、雪風、  
 ▷天津風、不知火、霞、陽炎、霞、  
 ▷浦風、濱風、磯風、追風、朝風、疾風、  
 ▷夕風、白露、暮、時雨、曙、有明、  
 ▷嵐、萩風、海風、江風、山風、涼風、夕風、  
 ▷秋雲、三月風、秋風、太刀風、羽風、  
 ▷野分、舞風、

▷隼、鴻、鶴、鴨、雁、鳩、鷲、  
 ▷初雁、友鶴、千鳥、真鶴、  
 ▷呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、  
 ▷呂六八、呂六三、呂六四、伊八、伊九、伊一五、  
 ▷伊二六、伊一七、伊一九、伊二二、伊二三、  
 ▷伊二五、伊六五、伊五七、伊五六、伊六四、  
 ▷伊六一、伊六一、伊六八、伊六九、伊七〇、  
 ▷伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、  
 ▷伊二二、伊二三、  
 ▷掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、  
 ▷掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、  
 ▷掃一七、掃一八、  
 ▷驅潛一、驅潛二、驅潛四、驅潛三、驅潛五、  
 ▷驅潛六、驅潛二二、驅潛二〇、驅潛一一、  
 ▷驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八、  
 ▷贈三一  
 宗谷、明石、隱戶、鳴戸、

**【航海中】**  
 ▷驅潛一五、驅潛二三、驅潛二四 (十月三十一日佐世  
 保發一作業地へ)  
 ▷伊五三、伊五四、伊五五 (一日吳發一作業地へ)  
 山城 (四日横須賀發一佐伯へ)  
 朝日 (四日吳發一作業地へ)  
 能登呂 (六日佐世保發一徳山へ)  
 哨三三 (六日作業地發一吳へ)  
 尻矢 (七日徳山發一佐世保へ)  
 襟裳 (七日四日市發一佐世保へ)

0502

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十六年十一月八日(土)

海軍大臣官房

○ 辭 令

(各通)

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍中將	片桐 英吉
同	岩村 清一
海軍軍醫中將	田中肥後太郎
海軍軍醫少將	神林 美治
海軍造船中將	福田 啓二
海軍大佐	中瀬 泝
海軍中佐	大井 篤
海軍機關大佐	岸川 覺雄
海軍機關中佐	水越 正作
海軍軍醫大佐	松見 茂雄
同	武井 英
海軍藥劑大佐	村田 秀
海軍少將	鈴木 義尾
海軍大佐	上阪 香苗

(各通)

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

同	中瀬 泝
同	山本 親雄
同	田口 太郎
同	人見 録一郎
海軍中佐	菊岡 徳次郎
同	中尾 熊太郎
同	猪口 力平
海軍機關大佐	岸川 覺雄
海軍機關中佐	渡部 正春
海軍軍醫中將	田中肥後太郎
海軍大佐	秋山 勝三
同	森 徳治
同	庄司 芳吉
同	中瀬 泝
海軍中佐	前川 新一郎
同	大井 篤

海軍公報(部内限)號外

0503

海軍機關大佐 岸川 覺雄  
 海軍軍醫中佐 秋山 爲次  
 海軍主計中佐 善木 豊  
 海軍主計少佐 栗 武彦  
 海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

(各通)

海軍軍醫大佐 松見 茂雄  
 同 武井 英  
 海軍軍醫中佐 大内 武  
 同 境 太郎  
 海軍軍醫學生藥劑學生主計學生及海軍造船學生造船學生造兵學生同候補者並生徒志願者身體検査委員ヲ命ス

(各通)

海軍軍醫大佐 武井 英  
 同 下山 政人  
 海軍軍醫中佐 秋山 爲次  
 同 南里 專一  
 海軍豫備員志願者身體検査委員ヲ命ス  
 海軍軍醫大佐 下山 政人  
 同 馬淵 涉  
 海軍軍醫中佐 大内 武  
 同 遠藤 春雄

(各通)

同 高濱 定  
 海軍軍醫中佐 波邊 格  
 同 河合 榮  
 同 南里 專一  
 同 立川 勇  
 同 城田 淳一  
 同 池上 保雄  
 同 新藤 信  
 同 窪田 正次  
 海軍軍醫少佐 清原 蕃卿  
 同 武宮 先  
 同 浦島 哲夫  
 海軍軍醫大尉 伊左次 賢三  
 同 濱村 進  
 同 海軍大佐 中瀬 浜  
 同 人見 銜一郎  
 海軍中佐 菊岡 徳次郎  
 同 中村 辰二  
 同 中尾 熊太郎  
 同 桑原 春雄

(各通)

海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス



海軍機關大佐 岸川 覺雄  
 海軍機關中佐 小國 寛之輔  
 恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス

海軍大佐 上阪 香苗  
 同 山本 親雄  
 同 三和 義勇

(各通)

海軍中佐 菊岡 徳次郎  
 海軍機關中佐 安田 收藏  
 海軍軍醫大佐 下山 政人  
 海軍軍醫中佐 柿坂 狷介  
 同 清水 繁良

海軍航空豫備學生採用試験委員ヲ命ス

(各通)

海軍中佐 山代 勝守  
 海軍大尉 齋藤 明

高等軍法會議判士ヲ命ス

(各通)

海軍中佐 島内 吉次  
 海軍大尉 松井 利夫

高等軍法會議判士ヲ命ス

(各通)

海軍中佐 野口 照隆  
 同 山代 勝守

東京軍法會議判士ヲ命ス

(各通)

東京軍法會議判士ヲ命ス

文官普通懲戒委員ヲ命ス

(各通)

靖國神社祭典掛ヲ命ス

海軍大尉 齋藤 明

海軍中佐 島内 吉次

同 大石 新一

海軍大尉 松井 利夫

海軍大佐 中瀬 泝

海軍中佐 桑原 春雄

海軍少佐 後藤 實二

海軍中將 片桐 英吉

同 岩村 清一

同 伊藤 整一

海軍少將 鈴木 義尾

海軍軍醫中將 田中肥後太郎

(各通)

海軍軍醫中將 田中肥後太郎

海軍大佐 中瀬 泝

同 山本 親雄

海軍中佐 島内 吉次

同 樋端 久利雄

同 大井 篤

同 猪口 力平

0505

海軍武功調査委員ヲ命ス  
 海軍少佐 角田千代吉  
 海軍大尉 牟田 靜雄  
 海軍機關少佐 猪原 武城

(各通)  
 海軍大佐 中 瀨 浜  
 同 田口 太郎  
 海軍中佐 吉田 英三  
 同 中村 辰二

思想調査委員會委員ヲ命ス  
 海軍大佐 山本 親雄  
 海軍中佐 樋端 久利雄

表彰審査委員會委員ヲ命ス  
 海軍中佐 樋端 久利雄  
 海軍機關中佐 安田 收藏  
 同 櫻井 金藏  
 同 小國 寛之輔

海軍用語調査委員會委員ヲ命ス  
 海軍造船少佐 前田 龍男

(各通)  
 海軍中佐 桑原 春雄  
 海軍少佐 後藤 實二  
 御府献納品銓衡委員會委員ヲ命ス

(各通)  
 海軍大佐 中 瀨 浜  
 同 山本 親雄  
 同 田口 太郎  
 海軍中佐 大 井 篤  
 同 桑原 春雄

海軍服制研究調査委員會委員ヲ命ス  
 海軍中佐 山田 武次  
 同 吉田 英三  
 同 櫻井 金藏

陸海軍軍需工業動員協定委員會幹事ヲ命ス  
 海軍少將 鈴木 義尾  
 海軍大佐 山本 親雄  
 同 杉浦 矩郎  
 同 榎引 誠雄

燃料政策調査委員會委員ヲ命ス  
 海軍少將 鈴木 義尾  
 海軍大佐 中 瀨 浜  
 同 山本 親雄  
 同 杉浦 矩郎  
 同 榎引 誠雄

(各通)  
 海軍少將 鈴木 義尾  
 海軍大佐 中 瀨 浜  
 同 山本 親雄  
 同 杉浦 矩郎  
 軍港要港勢力標準調査委員會委員ヲ命ス

0506

軍港要港勢力標準調査委員會委員(幹事)ヲ命ス  
 海軍中佐 樋端久利雄  
 海軍中佐 村田 秀  
 海軍藥劑大佐 村田 秀  
 (各通)  
 海軍中佐 島内 吉次  
 同 樋端久利雄  
 海軍少佐 角田千代吉  
 海軍大尉 牟田 靜雄  
 支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス  
 海軍大佐 山本 親雄  
 海軍中佐 吉田 英三  
 (各通)  
 陸海軍航空委員會委員ヲ命ス  
 海軍中佐 平本 道隆  
 同 井上梅二郎  
 陸海軍航空委員會委員(幹事)ヲ命ス

陸海軍技術(航空ヲ除ク) 協調委員會委員ヲ命ス  
 海軍中佐 樋端久利雄  
 海軍少佐 吉富 寛二  
 陸海軍技術(航空ヲ除ク) 協調委員會委員(幹事)ヲ命ス  
 海軍中佐 樋端久利雄  
 潜水艦調査委員會委員ヲ命ス  
 海軍中將 岩村 清一  
 海軍規格審議會議長ヲ命ス  
 海軍中將 三戸 由彦  
 海軍軍醫中將 田中肥後太郎  
 海軍造船中將 福田 啓二  
 海軍造兵少將 名和 武  
 海軍大佐 塚田 英夫  
 海軍中佐 石原 英男  
 海軍機關中佐 鈴木 俊郎  
 同 櫻井 金藏  
 海軍藥劑大佐 村田 秀  
 海軍造船少佐 前田 龍男  
 海軍造兵大佐 渡 克己  
 海軍規格審議會議員ヲ命ス

0507

(各通)

海軍規格審議會幹事ヲ命ス(以上セリ海軍省)  
海軍機關中佐 櫻井 金藏  
海軍藥劑大佐 村田 秀

0508

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千九百四十一號

昭和十六年十一月十日(月)

## 海軍大臣官房

### 令 達

官房第七八九號ノ六

昭和十六年官房第七八九號中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十日

海軍大臣

海軍諸例  
則登載

官房機密第一一號ノ八四

昭和十六年十一月十日

海軍大臣

参照 昭和十六年官房第七八九號ハ支那事變中海軍法務官、録事、  
發查配員ノ件ナリ(二月十七日海軍公報(部内限))

南遣艦隊 軍法會議	兼務一人	兼務一人	兼務二人	ニ改ム
南遣艦隊 軍法會議	兼務一人	兼務一人		ヲ

各鎮守府司令長官殿  
兵器簿ノ仲通達  
左記各艦兵器簿砲術長主管之部中左記ノ通改正ス

區分	類 別	品 名	數 稱	數 量	該 當 艦	摘 要
追加	五十口径 二號二十糎砲	教練用彈丸 擬信管附	個	砲二門ニ付 一個	戰艦 練習艦 巡洋艦 練習艦 航空母艦	砲身附屬具ノ部 中ニ追加記入
追加	五十口径 一五糎砲		個	砲一門ニ付 一個		
追加	五十口径 四糎砲		個			

海軍公報(部内限)第三千九百四十一號 昭和十六年十一月十日 一四八五

0509

○ 辭 令

海軍少將 下村 勝美  
海軍規格審議會議員ヲ命ス

（各通）  
海軍少將 宮里 秀徳  
海軍大佐 竹内 平七

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス（以上ハ海軍省）

第二課勤務ヲ命ス（海軍省兵備局長）  
海軍大佐 岡崎 文勲

○ 雜 款

○ 將旗移揚  
南遣艦隊司令長官ハ十一月六日將旗ヲ陸上廳舎ニ移揚セリ

第二十一航空戰隊司令官ハ十一月六日將旗ヲ神風丸ニ移揚、同日一時第七航空基地ニ移揚セリ

第七根據地隊司令官ハ十一月七日將旗ヲまがね丸ヨリ父島航空隊ニ移揚セリ

○ 將旗一時移揚  
第三根據地隊司令官ハ十一月六日將旗ヲ一時福山丸ニ

移揚セリ

○ 將旗復歸  
第九根據地隊司令官ハ十月三十一日將旗ヲ一時初鷹ニ掲揚、十一月六日永興丸ニ復歸セリ

廣東方面特別根據地隊司令官ハ十一月七日將旗ヲ廣東方面特別根據地隊ニ復歸セリ

○ 司令艇變更  
第三十三掃海隊司令官ハ十一月五日司令艇ヲ一時第五桐丸ニ變更セリ

○ 郵便物發送先  
當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

司令、機關長宛 芙蓉  
軍醫長宛 刈 萱  
主計長宛 朝 顔  
（第三十二驅逐隊）

○ 事務開始  
第百三海軍航空廠ハ十一月五日海軍航空技術廠内ニ設置事務ヲ開始セリ

0510

○艦船所在

指▲印ハハホノ  
定ヲ要セズ

十一月十日午前十時

【横須賀】

春日▲、剣崎▲、高雄

伊七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊四、

伊五、伊二七

驅潛特五三▲

知床

伊二九▲、(伊三六)▲、(伊三一)▲

【長浦】

驅潛三

哨一▲

【石川島】

驅潛二七

早鞆

築紫▲

風雲▲

【浦賀】

澤風

八丈、石垣、國後

沖風、伊神風、沼風、波風、野風

哨三四、哨三五

【吳】

淺間▲、八雲▲、初鷹、千代田、蒼龍、

阿武隈、伊勢、大井

伊三〇、伊一八、伊二三、伊二六、呂五七▲

伊二〇、呂五八▲、呂五九、伊五三、伊五八、伊六六

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潛八、驅潛七、驅潛九、驅潛一九、

驅潛二〇、驅潛二一

【大阪】

矢風

(卷雲)、(驅潛二四)

伊良湖▲、(伊二八)▲、(伊三三)▲、(伊二一)▲

(秋津洲)▲

(驅潛三三)▲、(若鷹)▲

伊六〇▲

能登呂

摩耶、山城

吾妻▲

薄雲▲

呂三四▲

哨三七▲

鶴見、室戸

(夕雲)▲、(秋月)▲

北上、嚴島、八重山、長鯨、飛龍、

瑞鳳

望月、睦月、如月、彌生、菊月、夕月、

三日月、伊三二▲、呂三三▲、呂三三▲

伊一〇、伊五九▲、伊二四▲、伊三三▲

伊二三

驅潛特五一▲

哨三、哨三六、哨三九、哨三八

敷島▲、尻矢

(阿賀野)▲、(伊三〇)▲、(伊三四)▲

【神戶】

伊良湖▲、(伊二八)▲、(伊三三)▲、(伊二一)▲

(秋津洲)▲

(驅潛三三)▲、(若鷹)▲

伊六〇▲

能登呂

摩耶、山城

吾妻▲

薄雲▲

呂三四▲

哨三七▲

鶴見、室戸

(夕雲)▲、(秋月)▲

北上、嚴島、八重山、長鯨、飛龍、

瑞鳳

望月、睦月、如月、彌生、菊月、夕月、

三日月、伊三二▲、呂三三▲、呂三三▲

伊一〇、伊五九▲、伊二四▲、伊三三▲

伊二三

驅潛特五一▲

哨三、哨三六、哨三九、哨三八

敷島▲、尻矢

(阿賀野)▲、(伊三〇)▲、(伊三四)▲

海軍公報(部内限)第三千九百四十一號

昭和十六年十一月十日

一四八七

0511

【長崎】春風、松風、朝風、旗風

驅潛特五一▲

樺野

【鎮海】芙蓉、朝顏、峯風、刈萱

【作業地】宇治、平安宅、二見、伏見、比良

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、網田

名取、長門、陸奥、嵯峨、橋立、球磨

足柄、長良、磐手、香椎、占守

日向、比叡、霧島、古鷹、大鯨、香取

扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、加古

川内、龍驥、千歳、瑞穂、愛宕

鳥海、妙高、羽黑、那智、熊野、三隈

最上、鈴谷、那珂、鹿島、白鷹、蒼鷹

天龍、龍田、夕張、迅鯨、勝利、駒橋

沖島、常磐、五十鈴、加賀、神通

翔鶴、鬼怒、山良、瑞鶴、多摩

木曾、神威、鳳翔、津輕

村雨、春雨、五月雨、夕立、沙風、帆風

大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、峯雲

山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、白雲

東雲、叢雲、綾波、敷波、浦波

夕霧、狹霧、天霧、朝霧、若葉、初霜

子日、初春、水無月、文月、皐月、長月

卯月、初曉、響、雷、栗、梅、蓮

早潮、親潮、夏潮、黑潮、時津風、初風

雪風、天津風、不知火、霞、陽炎、霞

谷風、浦風、濱風、磯風、追風、朝風

疾風、夕風、白霧、夕暮、時雨、曙

【航海中】

驅潛一五、驅潛二三、驅潛二四 (十月三十一日佐世保發|作業地)

伊五三、伊五四、伊五五 (一日吳發|作業地)

朝日、四日吳發|作業地

樺根、七日吳發|佐世保

利根、八日吳發|佐世保

赤城、八日吳發|舞鶴

野島、八日吳發|舞鶴

有明、風、萩風、海風、江風、山風、涼風、夕風、秋雲、秋風、太刀風、羽風、野分、舞風

鴻、隼、鶴、鴨、雉、雁、鳩、鷺

初雁、友鶴、千鳥、真鶴

呂六一、呂六〇、呂六二、呂六六、呂六五

呂六七、呂六八、呂六三、呂六四、伊八

伊九、伊一五、伊二六、伊一七、伊一九

伊二二、伊二三、伊三五、伊六五、伊五七

伊五六、伊六四、伊六一、伊六二、伊六八

伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三

伊七四、伊七五、伊二二、伊二二

伊七、掃八、掃九、掃一〇、掃二、掃三

掃三、掃四、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九

掃一七、掃一八

驅潛一、驅潛二、驅潛四、驅潛三、驅潛五

驅潛六、驅潛三、驅潛

驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八

宗谷、明石、隱戸、鳴戸

0512



# 海軍公報 (部内限) 第三千九百四十二號

海軍大臣官房

昭和十六年十一月十一日(火)

## ○ 選 牒

官房第五八〇九號

昭和十六年十一月十一日

海 軍 次 官

關係各廳長殿

「ビタミン」劑使用ニ關スル件申進

首題ニ關シ左記ノ通定メラレ候條了知相成度

記

一、「ビタミン」劑使用者範圍

海軍工廠、海軍工作部、旅順要港部工作部、海軍火藥廠、海軍燃料廠、海軍艦政本部、海軍航空本部、海軍技術研究所、海軍航空技術廠、海軍航空廠、海軍軍需部、海軍港務部、海軍施設本部及海軍建築部勤務ノ雇員、傭人(雇員、傭人ハ勤勉手當受給者ニ限ル)工員及傭員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ廳長ニ於テ必要ト認ムル者

(二)(一) 繼續深夜業ニ従事スル者  
作業ニ起因シ身體狀況不調トナリ作業能率低下ヲ來シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者

(イ) 睡眠障礙、食思不振等疲勞狀態著明ナル者  
體重著シク減セル者

自立チテ榮養不良トナリ來レル者

脚氣症狀乃至脚氣發病準備狀態ニ在ル者

(ホ) 胃腸障礙等ニ依リ休業多キ者

(三) 其ノ他廳長ニ於テ特ニ必要ト認ムル職種ノ者及  
廳長ノ特ニ定ムル者

二、使用期間

左ノ各號ノ期間トス但シ使用ノ要ナキニ至レル者ハ  
隨時取止ムルコト

(一) 六月一日ヨリ九月末日迄

(二) 其ノ他廳長ノ特ニ必要ト認ムル期間

三、使用方法

(一) 「ビタミン」B劑及A・D劑ヲ日曜ヲ除キ一週六  
日間毎日交互使用ノコト

海軍公報(部内限) 第三千九百四十二號

昭和十六年十一月十一日

一四八九

0513

- (二) 寄宿舎ニ收容中ノ者ニアリテハ朝食時使用セシムルヲ建前トシ含盛ハ之ガ實施ニ付嚴ニ監督ニ當ルコト
- (三) 前號以外ノ者ニアリテハ適宜應長ノ定ムルコロニ依リ實施シ易キ方法ヲ以テ使用セシムルコト
- 四、使用「ビタミン」劑ノ種類及使用量
  - (一) 「ビタミン」B劑
    - 一日ニ付強力「メタボリン」錠(一錠含量B<sub>1</sub>〇・〇五)
    - 五應)二錠、「オリザニン」錠(一錠含量B<sub>1</sub>〇・〇二)
    - 二五應、B<sub>2</sub>〇・〇〇一七五應、B<sub>6</sub>〇・〇〇六應)
    - 四錠又ハ滋強「ビーゲン」錠(一錠含量B<sub>1</sub>〇・〇五)
    - 應二錠
  - (二) 「ビタミン」A、D劑
    - 一日ニ付「エーデー」四錠又ハ「ハリバ」三錠
- 五、經費支辨科目
  - (一) 工作應(火藥廠ヲ除ク)
    - 臨時軍事費、造船造兵及修理費(雇員傭人)
    - 附屬費(工員)
    - (整理符號七二)
    - 火藥廠及燃料廠
  - (二) 事業費、雜給及雜費、雜件費

- (三) 建築部
  - 臨時軍事費、作場費
    - 臨時軍事費衣糧費、雜費(軍需部衣糧系)
- (四) 軍需部
  - 同
    - 造船造兵及修理費、雜費(軍需部艦本系)
    - 艦營費、保管運搬費(軍需部需品同燃料系)
- (五) 港務部
  - 臨時軍事費、軍港要港費、傭給(雇員、傭人)
  - 同、同、浚渫費(工員)
- 六、調達方法
  - 經理局ニ於テ統制契約ノ上所要ノ向ニ通知ノコト
- 七、調査報告
  - (A) 各應長ハ使用開始時其ノ員數ヲ、使用終了後效果所見ニ付其ノ要點ヲ兵備局長、醫務局長ニ通報スル外別ニ艦政本部系工作應ニアリテハ艦政本部長ニ、航空本部系工作應ニアリテハ航空本部長ニ、燃料廠及軍需部ニアリテハ軍需局局長ニ、建築部ニアリテハ施設本部長ニ寫一通送付ノコト

0514

軍務一第二二〇號

昭和十六年十一月十日

海軍省軍務

關係各廳長殿

海軍禮式中捧銃ノ敬禮ヲ行フ場合ノ號令ニ關スル件申進

**海軍諸例  
則登載**

首題ニ關シ疑義ヲ有スル向モ有之候處禮式中捧銃ノ敬禮ヲ行フ場合ニ於テハ「捧ケ銃」ノ號令ヲ用フル義ニ有之候條了知相成度

兵備二機密第一〇三九號

昭和十六年十一月十日

海軍省兵備局長

關係各廳長殿

カドミウム配給統制ニ關スル件通牒

首題ノ件自今別紙要領細則ニ依リ統制實施相成候條了知相成度

(別紙)

カドミウム配給統制事務取扱要領細則

一、需 要

主務部局ハ四半期毎ニ當該期ノ需要額調書(軍需及

充足軍需ニ區分ス)ヲ調製シ當該期ノ二箇月前迄ニ一通兵備局ニ送付スルモノトス

二、配 給

兵備局ハ每四半期又ハ毎月ノ割當量ヲ決定シ要スレバ各部局ト協議ノ上ソノ割當量ヲ定ム

各部局ハ割當量ノ範圍内ニ於テ左記ニ依リ發註又ハ民間受註工場用トシテ證明書ヲ發行スルモノトス

(イ) 自 應 用

各廳ハ海軍省經理局長ト日本鉛車鉛アンチモン統制組合トノ契約ニ依リ取得スルモノトス

(註文手續ハ契約書中ニ明示ス)

(ロ) 民間受註工場用

(一) 配給申請書ニハ所要ノ月ヲ區分明示シ二箇月前迄ニ配給申請書二通(監督官經由ノモノハ三通)

地方各廳契約ニ要スルモノハ各契約擔任官、中央契約並ニ充足軍需ニ要スルモノハ關係各部局ニ提出スルモノトス

但シ監督官經由ノモノニ在リテハ監督長(首席監督官)審査ノ上所見ヲ附シ移牒スルモノトス

(二) 契約擔任官ハ申請書一通ニ要スレバ意見ヲ附シ之ヲ關係主務部局ニ提出シ主務部局ハ之ヲ審

海軍公報(部内限)第三千九百四十二號

昭和十六年十一月十二日

一四九一

0515

查シ申請者ニ對シ證明書ヲ交付スルモノトス  
 (三) 主務部局ハ配給證明セルモノヲ取纏メ別紙様式ニ依ル配給集計表ニ通テ調製シ配給ヲ要スル月ノ一箇月前迄ニ兵備局ニ送付スルモノトス  
 突發的事由其ノ他已ムラ得ザル事情ニ依リ割當額以上ニ配給ヲ要スル場合ハ速ニ兵備局ト協議ノ上處理スルモノトス

三、取 得

(イ) 受給者ハ必ズ自家工場ニ於テ「カドミウム」ヲ直接使用スルモノニ限リ原則トシテ日本鉛鋅鉛ア  
 シチモン統制組合又ハ其ノ指定販賣業者ニ配給證明書ヲ提示シ配給要求ヲ爲スモノトス  
 但シ充足軍需用「カドミウム」ノ配給申込ハ充足軍需證明書添付ノ上一般民需用ト同様ノ取扱方法ニ依リ申込ムモノトス

統制組合ノ事務所所在地、指定配給業者及指定倉庫ハ左記ノ通

- (一) 統制組合ノ事務所所在地  
 日本鉛鋅鉛アンチモン統制組合  
 東京市日本橋區茅場町二丁目八番地

電話茅場町 (66) (一〇二二、一〇二三、四九七六、四九七七、四九七八)

(二) 指定配給業者

- 株式會社佐渡島商店東京出張所  
 東京市日本橋區本町一ノ八
- 株式會社佐渡島商店  
 大阪市南區安堂寺橋通二ノ一四

(三) 統制組合指定倉庫

- 東京及大阪  
 東神倉庫  
 三菱倉庫  
 住友倉庫

(ロ) 日本鉛鋅鉛アンチモン統制組合ハ配給證明書依リ受給者ト直接契約ヲ爲シ配給證明書指定期日迄ニ供給ヲ爲スモノトス

(ハ) 配給値段ハ商工省指令ニ依リ許可價格トス (別紙様式添)

軍需機密燃第五〇號

昭和十六年四月一日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

燃料繰替供給單價ノ件通牒

昭和六年官房第三三五六號ニ依ル燃料繰替供給單價左記ノ通定メ候

記

品種	數稱	單價
海軍煉炭	匁	四二〇〇
一號塊炭	同	三三〇〇
二號塊炭	同	二九〇〇
三號塊炭	同	二八〇〇
罐用重油	同	六〇〇〇
一號重油	同	七五〇〇
二號重油	同	九〇〇〇
航空九二揮發油	立	四九〇
航空八七揮發油	同	四〇〇
航空八五揮發油	同	三九〇

航空七〇揮發油	同	三六〇
航空八七原料揮發油	同	三八〇
一號普通揮發油	同	二八〇
二號普通揮發油	同	二八〇
一號石油	同	二六〇
二號石油	同	二三〇
三號石油	同	二三〇
輕油	同	二一〇

備考 其他ノ品種ニ關シテハ必要ノ都度通牒ス

經物第一八九號

昭和十六年十一月十日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知

昭和十三年三月經物第一〇六號第一項第四號ニ依ル首題ノ件左記ノ通承認致候

記

海軍公報(部内限)第三千九百四十二號

昭和十六年十一月十一日

一四九三

0517

會社名	所在地
中尾吉之助(中尾組)	山口縣熊毛郡光町大字光井二九一二
東洋曹達工業株式會社	山口縣都濃郡富田町四五六〇
伊藤英一(伊藤組)	川崎市小杉四四一
日新工業株式會社	川崎市今井一六一
川島(川島鐵工所) 亥 勇 夫	福岡市吉塚一四ノ六三八
加藤俊一(岡田組)	東京市日本橋區本町二ノ四
合資會社 師田組	東京市世田ヶ谷區松原町三ノ八六三
合資會社 落合組	大阪市北區若松町四三
合資會社 松井組	千葉縣安房郡富浦町原岡二二三
姫野勘治郎(姫野組)	名古屋市中區東會根町南二ノ一六
山田元治(山田組)	東京市瀧野川區中里町二二三
芳賀易造(芳賀工業所)	東京市芝區濱松町二ノ一七
大村鎌次郎(大村商店)	元山府海岸通四ノ三八

○ 辭令

軍令部出仕海軍大佐 石原 隼  
第一部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(海軍令部)

海軍大佐 堀江義一郎(艦本)

同 上田光治(若鷹)

海軍中佐 佐藤 佐(艦本)

同 池端 鉄郎(同)

海軍大尉 東 日出雄(若鷹)

同 海軍機關大佐 林 敏之(艦本監)

同 海軍軍醫大尉 大江 秀三(艦本)

(各通) 海軍特務中尉 馬場 正次(若鷹)

海軍機關特務中尉 網中 勝城(同)

海軍主計特務中尉 沖 季安(同)

海軍豫備中尉 庄 山 誠(同)

海軍豫備少尉 小池 榮(同)

海軍技師 藤川 勘治(同)

同 菅 繁義(艦本監)

軍艦若鷹審議委員ヲ命ス 上羽 助太郎(同)

海軍大佐 堀江義一郎(艦本)

海軍中佐 田中 正雄(同)  
 海軍大尉 高根 嘉根次(三驅潛)  
 (各通) 海軍機關大佐 林 敏之(艦本監)  
 海軍機關少佐 山上 實(艦本)  
 海軍技師 菅 繁義(艦本監)  
 同 上羽助太郎(同)

第二十三號驅潛艇審議委員ヲ命ス(以上二回海軍艦政本部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚  
 廣東方面特別根據地隊司令官ハ十一月六日將旗ヲ橋立ヨリ一時嵯峨ニ移揚セリ

○將旗復歸  
 第三根據地隊司令官ハ十一月七日將旗ヲ陸上司令部ニ復歸セリ

○司令潜水艦變更  
 第二潜水隊司令官ハ十月三十日司令潜水艦ヲ伊號第十八潜水艦ヨリ伊號第十九潜水艦ニ變更セリ

○書類發送先

當隊宛書類ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記  
 隊、司令宛 夕霧  
 隊機關長、軍醫長宛 朝霧  
 主計長宛 天霧  
 (第二十驅逐隊)

○速達料金ノ件照會  
 當事務所ハ郵便區域外ニ有之速達料金五十五錢ヲ要スルニ付發送ニ當リテハ留意相成度  
 (大井海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所)

○事務所設置  
 伊號第三十潜水艦艇裝具事務所ヲ十一月五日吳海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

伊號第二十七潜水艦艇裝具事務所ヲ十一月六日佐世保海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去  
 伊號第二十六潜水艦艇裝具事務所ヲ十一月六日撤去セリ

○開隊  
 下關防備隊ヲ十月三十一日下關市吉見町ニ開隊セリ  
 (電話吉見局二六番)  
 追テ下車驛ハ山陰線吉見驛(同驛ヨリ約二軒)

○特設艦船略稱制定ノ件  
當隊特設艦船ノ略稱ヲ左ノ通定メラレ候

隊名	固有艦名	略稱
第五砲艦隊	日海丸	第五十一號砲艦
	靜海丸	第五十二號砲艦
	京城丸	第五十三號砲艦
第十四掃海隊	玉丸	第四百四十一號掃海艇
	第二玉丸	第四百四十二號掃海艇
	羽衣丸	第四百四十三號掃海艇
	能代丸	第四百四十四號掃海艇
第五十七驅潛隊	國光丸	第五百七十二號驅潛艇
	第二拓南丸	第五百七十二號驅潛艇
	第十五昭南丸	第五百七十三號驅潛艇

(第四根據地隊司令部)

○正誤  
本月五日雜款欄中神戸海軍監督官事務所資金前渡官吏事務引繼文「新任」ハ「前任」ノ、「前任」ハ「新任」ノ誤

0520



(別紙様式)

昭和、年、月物資名……………配給(割當)證明集計表

(昭和十六年十一月十一日海軍公報(部内限))

部 局 名

考 備	過 不 足	豫 定 配 當 額	計			物 資 名	單 位	數 量	記 事

0521

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千九百四十三號

昭和十六年十一月十二日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第五八〇八號

當分ノ間泰國ニ於テ支拂ヲ要スル經費ニ付テハ海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ同國駐在主計科士官ヲ資金前渡官吏トス

昭和十六年十一月十一日

海軍大臣

官房機密第一〇三九五號

臨時軍事費特別會計歳入科目中左ノ通追加ス  
昭和十六年十一月十一日

海軍大臣

貨 幣 キ 六	節 解 疏 會計科目 電信略號	目 節 解 疏 會計科目 電信略號	(特別 收入)	(軍資金)	(軍資金)	款 項 目	尙軍資金(款、項)雜入(目)中「外國貨幣」ヲ削除ス	官房機密第一〇四一七號 昭和十六年十一月十一日 海軍省副官	各廳長殿 艦船所在掲載取止ノ件通知 海軍公報(部内限)ニ所載ノ艦船所在ハ當分ノ間之ガ掲載ヲ取止メラレタルニ付御了知相成度 經豫機密第三號ノ六一 昭和十六年十一月十一日 海軍省經理局長 關係各歳入徴收官、收入官吏殿	内令提 登載	函 獲 品 キ 七 拂 下 代
							尙軍資金(款、項)雜入(目)中「外國貨幣」ヲ削除ス	官房機密第一〇四一七號 昭和十六年十一月十一日 海軍省副官	各廳長殿 艦船所在掲載取止ノ件通知 海軍公報(部内限)ニ所載ノ艦船所在ハ當分ノ間之ガ掲載ヲ取止メラレタルニ付御了知相成度 經豫機密第三號ノ六一 昭和十六年十一月十一日 海軍省經理局長 關係各歳入徴收官、收入官吏殿	内令提 登載	函 獲 品 キ 七 拂 下 代

海軍公報(部内限)第三千九百四十三號

昭和十六年十一月十二日

一四九七

0522

押收貨幣及鹵獲品拂下代ノ歳入科目ニ關スル件通牒

今般官房機密第一〇三九五號ヲ以テ軍資金(款、項)特別收入(目)中鹵獲貨幣及鹵獲品拂下代ノ節追加セラレ首題收入金ハ總テ前記科目ヲ以テ徵收ノコトト定メラレ候ニ就テハ該收入金ニシテ從來雜入(目)外國貨幣(節)雜收(節)等ヲ以テ收入濟ノモノハ新設科目ニ科目訂正相成度

○ 辭 令

海軍艦政本部附海軍技手 今田 佳司  
海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ命ス

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手海軍技手 本田 民雄

舞鶴海軍工廠附ヲ命ス

同 釘田 正人

吳海軍工廠勤務ヲ命ス

海軍技術研究所附海軍技手 島 谷 正

横須賀海軍工廠附ヲ命ス

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手海軍技手 淺 奥 隆一

舞鶴海軍工廠附ヲ命ス

海軍艦政本部附兼吳海軍工廠附海軍技手 大地 耕吉

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手海軍技手 四元 正明

海軍艦政本部附ヲ命ス

海軍艦政本部勤務海軍技手 曾布川 義雄

兼海軍艦政本部造兵監督助手ヲ命ス(以上皆海軍省)

○ 雜 款

○將旗移揚  
第三遣支艦隊司令長官ハ十一月六日將旗ヲ陸上應舍ヨリ警手ニ移揚セリ

○將旗一時變更  
第二遣支艦隊司令長官ハ十一月十日將旗ヲ一時橋立ニ移揚セリ

○將旗復歸  
第二十一航空戰隊司令官ハ十一月九日將旗ヲ鹿屋海軍航空隊ニ復歸セリ

○司令艇復歸  
第一水雷隊司令ハ十一月八日司令艇ヲ鴻ニ復歸セリ

0523

○司令砲艦變更  
第八砲艦隊司令八十一月六日司令砲艦ヲ大同丸ヨリ生田丸ニ變更セリ

○郵便物發送先

宛名	宛先	記事
第六十四驅潜隊司令	横須賀郵便局 氣付丸〇四〇	軍事郵便ノ指
同 主計長	第十昭南丸	定ヲ要ス
同 機關長	横須賀郵便局 氣付丸〇四〇	
同 軍醫長	第十一昭南丸	

○本日普通公報發行セズ

海軍公報(部内限)第三千九百四十三號

昭和十六年十一月十二日

一四九九

0524

海軍公報(部内限)號外

昭和十六年十一月十二日(水)  
海軍大臣官房

○軍令

朕商港警備府令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名 御璽

昭和十六年十一月十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍令海第二十一號

商港警備府令

第一條 重要商港ニ商港警備府ヲ置ク

第二條 前條ノ商港警備府ノ名稱及所在地左ノ如シ

大阪警備府 大阪市

第三條 商港警備府ハ所管警備區ノ防禦及警備並ニ所

管ノ出師準備ニ關スルコトヲ掌リ所屬各部ヲ監督スル所トス

第四條 商港警備府ニ必要ニ應ジ艦船部隊ヲ附屬ス

第五條 商港警備府ニ司令長官ヲ置ク

司令長官ハ親補トス

海軍諸例  
則登載

第六條 司令長官ハ

天皇ニ直隸シ部下ノ艦船部隊ヲ統率シ又海軍大臣ノ命ヲ承ケ軍政ヲ掌ル

司令長官ハ作戰計畫ニ關シテハ軍令部總長ノ指示ヲ承ク

第七條 司令長官ハ府務ヲ總理シ部下ノ軍紀風紀及教育訓練ヲ統監ス

第八條 司令長官ハ部下ノ艦船部隊ヲ鎮守府警備區又ハ他ノ警備府警備區ニ派遣スルコトヲ得

第九條 司令長官ハ其ノ所管各地ノ守備、秩序ノ維持及齊一ヲ要スル重大ナル事項ニ關シ其ノ地ニ在ル後任指揮官ノ率キル艦船部隊ヲ指揮スルノ權ヲ有ス但シ之ガ爲當該艦船部隊ノ本務ヲ妨グルコトヲ得ズ

第十條 司令長官ハ戰時、事變、演習等ニ際シ任務上必要アルトキハ一時部下艦船部隊ノ編制ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ直ニ之ヲ海軍大臣及軍令部總長

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

0525

ニ報告スベシ

第十一條 司令長官ハ所管警備區ノ警備ニ關シテハ當該區警備ノ任務ヲ有スル艦隊司令長官ト氣脈ヲ通ズベシ

第十二條 司令長官ハ地方長官ヨリ地方ノ安寧ヲ維持スル爲兵力ノ請求アリタルトキ事急ナレバ直ニ之ニ應ズルコトヲ得但シ地方長官ノ請求ヲ待ツノ邊ナキトキハ便宜兵力ヲ用フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ事後速ニ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スベシ

第十三條 司令長官ハ部下雜役船ニ乗員ヲ要スルトキハ部下人員ニ臨時乗組ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 司令長官ハ疾病其ノ他已ムヲ得ザル事情アルトキハ海軍大臣ノ承認ヲ得テ一時部下人員ヲ移轉轉勤セシムルコトヲ得但シ事急ナルトキハ便宜之ヲ處理シテ後海軍大臣ニ報告スベシ

第十五條 司令長官ハ部下ノ職員ノ一部ヲ置カザルトキ又ハ缺員中若ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハザルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ執行又ハ代理セシムルコトヲ得

第十六條 司令長官缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ

執ルコト能ハザルトキハ部下ノ將校軍令承行順序ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス但シ海軍大臣特ニ代理者ヲ置キタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條 商港警備府ニ幕僚トシテ左ノ職員ヲ置ク

參謀長

參謀

副官

機關長

軍醫長

主計長

法務長

前項幕僚ノ外附ヲ置キ場合ニ依リ前項職員ノ一部ヲ置カズ

第十八條 參謀長ハ司令長官ヲ佐ケ幕僚ノ事務ヲ統ベ警備府ノ府務ヲ整理ス

第十九條 參謀及副官ハ參謀長ノ命ヲ承ケ服務ス機關科將校タル參謀ハ前項ノ規定ニ依ルノ外機關長ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十條 機關長、軍醫長、主計長及法務長ハ司令長官ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十一條 附ハ司令長官ノ指定ニ依リ各上官ニ屬シ

其ノ命ヲ承ケ服務ス、

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス  
阪神海軍部令ハ之ヲ廢止ス

朕海軍警備隊令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名 御璽

昭和十六年十一月十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍令海第二十三號

海軍警備隊令

第一條 海軍警備隊ハ鎮守府又ハ警備府ニ屬シ其ノ所

管ノ防禦及警備ヲ擔任シ必要ニ應ジ港務、通信等ニ

關スルコトヲ掌ル

第二條 海軍警備隊ノ所屬、名稱及所在地ハ別ニ之ヲ

定ム

第三條 海軍警備隊ニ必要ニ應ジ艦船部隊ヲ附屬ス

第四條 海軍警備隊ニ左ノ職員ヲ置ク

司令官

參謀

機關長

海軍公報(部内限) 號外

海軍諸則  
則登載

軍醫長

主計長

分隊長

隊附

場合ニ依リ司令官ニ代フルニ司令ヲ、參謀ニ代フル  
ニ副長ヲ置キ又ハ前項職員ノ一部ヲ置カザルコトヲ  
得

第五條 司令官又ハ司令ハ所屬ノ司令長官ニ隸シ部下

ヲ統率訓練シ軍紀風紀ヲ維持シ隊務ヲ總理ス

第六條 司令官又ハ司令ハ部下ノ職員ノ一部ヲ置カレ

ザルトキ又ハ缺員中若ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ル

コト能ハザルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ執行

又ハ代理セシムルコトヲ得

第七條 司令官又ハ司令缺員中又ハ事故アリテ其ノ職

務ヲ執ルコト能ハザルトキハ部下ノ將校軍令承行順

序ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス但シ所屬ノ司令長官特ニ

代理者ヲ置キタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 副長ハ司令ヲ輔佐シ隊務ヲ整理シ隊員ノ服務

ヲ監督ス

第九條 參謀ノ服務ニ關シテハ艦隊令中當該職員ニ關

スル規定ヲ準用ス

0527

第十條 機關長、軍醫長、主計長、分隊長及隊附タル  
士官、特務士官、准士官、下士官及兵ノ服務ニ關シ  
テハ防備隊令中當該職員ニ關スル規定ヲ準用ス

隊附士官ハ前項ノ規定ニ依ルノ外必要ニ應ジ司令官  
又ハ司令ノ命ヲ承ケ司令官又ハ司令指定ノ部署ノ長  
ト爲リ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ之ガ教育訓練ヲ掌  
ル

第十一條 前條ニ規定スル者ヲ除クノ外附ハ司令官又  
ハ司令ノ指定ニ依リ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十二條 海軍警備隊職員服務ノ細項ニ關シテハ海軍  
大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

0528



(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千九百四十四號

海軍大臣官房

昭和十六年十一月十三日(木)

## ○通牒

軍務一機密第七八二號

昭和十六年十一月十日

海軍省軍務局長

各廳長 殿

支那方面渡航者ノ紹介ニ關スル件申進

近來支那方面渡航者ニシテ海軍部内者ノ紹介名刺ノミヲ持參シ直接海軍武官府、經理部、軍需部等ヲ訪問用件ヲ辨セントスル者多ク在支各艦隊司令部ニ於テモ隊務統督、事務遂行上多大ノ不都合ヲ感シアルニ付自今中央責任當局ヨリスルモノノ外單ナル紹介等ハ之ヲ行ハザルコトトセラレ度

軍務一第二二一號

昭和十六年十一月十三日

海軍省軍務局長  
海軍省醫務局長

海軍公報(部内限)第三千九百四十四號

昭和十六年十一月十三日

一五〇一

各鎮守府、各艦隊、參謀長  
海南警備府、各要港部、軍醫長 殿

赤痢豫防錠使用ノ件申進

首題ノ件昭和十七年度ニ於テモ昭和十四年十一月二十二日醫第五三二號申進ニ依リ實施ノコトニ定メラレ候條可然取計相成度

(昭和十四年十一月二十四日海軍公報(部内限)参照)

## ○雜款

○將旗移揚

大島根據地隊司令官ハ十一月十日將旗ヲ河北丸ニ移揚セリ

○將旗復歸

羅津根據地隊司令官ハ十一月十一日將旗ヲ羅津防備隊ニ復歸セリ

○事務開始

第九戰隊司令部準備事務ヲ十一月十日軍艦大井ニ於テ

開始セリ		○特務艦襟裳行動豫定	
吳	地	着	發
四日市		十一月五日	十一月三日
佐世保		十五日	十二月七日
四日市		十五日	十二月十七日
佐世保		二十日	十二月二十七日
四日市		二十四日	十二月三十一日
吳		二十八日	一月一日
下津		十二月六日	十二月四日
横須賀		十二月六日	十二月四日
○特設運送船辰鳳丸行動豫定			
吳	地	着	發
佐世保		十一月二十日	十一月二十三日
佐南浦		二十四日	十二月二十五日
佐世保		二十七日	十二月二十八日
鎮海		十二月五日	十二月八日
鎮海		十二月九日	十二月十日
吳		十一月十一日	十二月十三日

0530

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千九百四十五號

海軍大臣官房

昭和十六年十一月十四日(金)

## ○令 達

官房第五八六三號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十四日

海 軍 大 臣

表中第十海軍軍用郵便所ノ欄所員「專任十五人判任」ヲ「專任二十一人判任」ニ、「專務二十四人雇員」ヲ「專務三十人雇員」ニ改ム

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ(昭和十六年六月一日海軍公報(部内限))

## ○通 牒

官房第五八六四號

昭和十六年十一月十四日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

海軍公報(部内限) 第三千九百四十五號

昭和十六年十一月十四日

一五〇三

事變關係市外通話優先取扱ニ關スル件通牒  
昭和十四年三月三十日附官房第一六四號首題通牒中左記ノ通改メラレ候  
記

佐世保海軍航空隊出水分遣隊ノ電話番號「出水一五八番」ヲ「出水一六一番」ニ改メ(註)「出水一五八番」ハ佐世保海軍建築部出張所ノ取次トス」ヲ削リ左ノ如ク追加ス

相手應名	電話番號	相手應名	電話番號
第一海軍藥廠	船岡 一二番	第一海軍藥廠	船岡 一二番
第二海軍藥廠	平塚 二番	第二海軍藥廠	平塚 二番
湊海軍病院	下田 二二〇番	湊海軍病院	下田 二二〇番
仙臺地方海軍人事部	仙臺 四七七番	仙臺地方海軍人事部	仙臺 四七七番
秋田同	秋田 一五三〇番	秋田同	秋田 一五三〇番

0531

第一海軍 火藥廠	橫須賀 鎮守府	船岡 二二三番 二四番 三八番	橫須賀 鎮守府	橫須賀 鎮守府	橫須賀 鎮守府	橫須賀 鎮守府	海軍省	第一海軍 燃料廠	砲術學校	館山海軍	霞ヶ浦同	木更津同	航空隊	館山海軍	長津呂望樓	鹽屋望樓	金華山望樓	札幌同	
			同	同	同	同	銀座三二一番	大船 二三四番	布良 三六番	土浦 二七五番	木更津 四二三番	館山 五三一番	下田 四三二番	豊間 四二番	金華山 四番	札幌 五六五六番			
海軍建築部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部	海軍工務部
同 二二三番	同 九一番	同 九一番	同 七番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番	同 二番
玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官	玉海軍 監督官
一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番	一九番
大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官	大阪海軍 監督官
五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番	五〇一 番

吳鎮守府	吳	五二〇一番
吳海軍部	同	五一八一番
舞鶴	中舞鶴	五一一番
鎮守府	高松	四七一七番
高松地方	鹿兒島	一七八二番
軍人部	熊本	五二二六番
鹿兒島地方	鹿屋	七八番
海軍部	西戸崎	五一一番
熊本人部		
鹿屋海軍部		
航空隊		
博多海軍部		
航空隊		

軍需燃第四四號

昭和十六年十一月十四日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

自動車用燃料ニ關スル件通牒

今般達第三百四十七號ヲ以テ燃料トシテ三號普通揮發油ヲ制定相成候處自今自動車用普通揮發油ハ特ニ要スルモノノ外三號普通揮發油ヲ使用ノコトニ定メラレ候

經給第一三三號

昭和十六年十一月十三日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

徵用員ノ家族移轉料ニ關スル件通牒

今般海軍省令第四十一號ヲ以テ國民徵用令ニ依リ海軍ニ徵用セラレタル者ノ給與等ニ關スル件中改正セラレタル結果官吏以外ノ徵用員ニ對シ家族移轉料ヲ支給セラルルコトト相成候ニ付テハ之ガ取扱ニ付テハ左記ヲ知相成度

記

- 一 家族移轉料ハ徵用期間一年以上ノ者ニ付就業後一年以内ニ請求セシムルコト但シ徵用當時ノ就業廳所在地ガ戰地(事變地ヲ含ム)ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ
  - 二 旅費等級ハ徵用當時ノ本人ノ資格ニ依ルコト
  - 三 家族移轉料ノ支給ヲ受ケタルトキハ二月以内ニ其ノ移轉ヲ完了セシメ移轉後一月以内ニ移轉完了届ヲ提出セシムルコト
- 前項ノ移轉完了届ニハ新舊居住地ノ市町村長(之ニ準ズル者ヲ含ム)ノ移轉完了證明書ヲ添付スルコト

海軍公報(部内限)第三千九百四十五號

昭和十六年十一月十四日

一五〇五

0533

四 徵用當時滿二十五歳未滿ノ者ニ對シテハ家族移轉料ハ之ヲ支給セズ但シ所轄長特ニ家族ノ移轉ノ必要ヲ認メタル場合ハ所屬長官ノ認許ヲ得テ之ヲ支給シ得ルコト

五 前各號ノ外海軍内國旅費規則ノ定ムル所ニ依ルコト

○ 辭令

海南警備府附ヲ命ス

神祇院教務官 横井 時常

第五海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 瀬山 忠男

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上計四海軍省)

海軍技術會議議員海軍中佐 池上 二男

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス(計四同)

(各通) 海軍中佐 野間 徹

海軍少佐 石川 健逸

第一課勤務ヲ命ス(計四海軍省人事局)

○ 雜款

○將旗一時移揚  
第二根據地隊司令官ハ十一月十二日將旗ヲ宮崎丸ヨリ一時射水丸ニ移揚セリ

○將旗復歸  
第一遣支艦隊司令長官ハ十一月十一日將旗ヲ安宅ニ復歸セリ

第三遣支艦隊司令長官ハ十一月十二日將旗ヲ磐手ヨリ陸上廳舎ニ復歸セリ

吳防備戰隊司令官ハ十一月十二日將旗ヲ金城山丸ニ復歸セリ

○郵便物發送先  
當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

隊、司令、庶務主任宛

嵐

機關長宛

舞風

軍醫長宛

萩風

主計長宛

野分

(第四 驅逐隊)

第五十一警備隊宛 横須賀郵便局氣付第八三八九  
第五十二警備隊宛 同 第八八九〇  
第五十三警備隊宛 同 第八六九一

○本日普通公報發行セズ

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千九百四十六號

昭和十六年十一月十五日(土)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第一〇二四七號

昭和二年勅令第三百八十一號ニ依リ同十四年十月二十五日任用セラレタル海軍軍醫科、藥劑科及主計科士官

(海軍武官服役令第八條ノ規定ニ依ル現役ニ服セシメラレタル者ヲ除ク)ハ海軍軍醫科、藥劑科、主計科、

造船科、造機科及造兵科士官現役期間特別第五條並海軍武官服役令第三條第一項第一號ニ依リ當分ノ間服役期間ヲ延長ス

昭和十六年十月二十四日

海軍大臣

官房機密第一〇五九二號

會計監督ノ所掌ニ付特例左ノ通定メ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ適用ス

監督區分

監督ヲ受クル各部

舞鶴海軍經理部長

第十一海軍航空廠舞鶴支廠

大湊海軍經理部長

第二海軍航空廠大湊支廠

鎮海海軍經理部長

第二十一海軍航空廠鎮海支廠

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣

官房第五八〇六號

軍用ノ滑空機ニ搭乘スル職ニアル者ノ航空加俸ノ支給ニ關シ左ノ通定ム

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣

一 海軍軍人軍屬ニシテ職務ヲ以テ軍用ノ滑空機ニ搭乘シ滑空勤務ニ従事スル者ニハ本令ニ依リ航空加俸ヲ支給ス  
前項ノ滑空機トハ上級機及中空機ヲ謂フ

海軍公報 (部内限) 第三千九百四十六號

昭和十六年十一月十五日

一五〇七

0535

二 本令ニ於テ滑空勤務ニ従事スル者トハ左ノ職務又

ハ配置ニ在ル者及特ニ定ムル者ヲ謂フ

(イ) 滑空機ノ操縦又ハ機上作業ノ指導官、同附又ハ補助官

(ロ) 機上教育ヲ要スル學生、練習生及講習員

三 航空加俸ハ現ニ滑空機ニ搭乘シタル日數ニ應ジ航空加俸支給規則第一表ニ依リ日額乙ヲ支給ス

前項ニ依ル航空加俸ヲ受クル者ノ一箇月ノ加俸額ハ

航空加俸支給規則第一表月額乙ヲ超ユルコトヲ得ズ第一項ノ加俸ヲ支給セントスルトキハ所轄長ハ其ノ

都度理由ヲ具シ所屬長官ノ認許ヲ受クベシ

四 前號ニ依ル加俸ハ月額ノ加俸ノ支給ヲ受クベキ者ニハ之ヲ支給セズ

一日中加俸額ヲ異ニスルトキハ其ノ多額ニ付之ヲ支給ス

五 本令ニ明文ナキモノニ付テハ航空加俸支給規則ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和十六年十一月一日ヨリ之ヲ適用ス

○ 辭令

海南警備府ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(海軍省) 許斐 林太郎

第二遣支艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解キ支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス 劍持 智勇二

但シ報酬年額千八百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(扶明同)

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス 永島 九卓

但シ報酬年額貳千貳百八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

横須賀海軍病院齒科治療業務囑託 橋元 伊八郎

第一艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千四百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 第一艦隊齒科治療業務囑託 波田野 淺義

横須賀海兵團齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

0536



横須賀海兵團齒科治療業務囑託

立川 保

旅順海軍病院並ニ旅順要港部海軍共濟組合事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千九百四拾五圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

旅順海軍病院齒科治療業務並ニ旅順要港部海軍共濟組合事務囑託

北川 正夫

第二艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

第二艦隊齒科治療業務囑託

松川 星吾

舞鶴海兵團齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

通信書記 増喜 忠

小澤 達郎

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

(各通)

海軍省事務ヲ囑託ス

燈臺局書記官 藤川 洋

横須賀海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託ス(以上廿四日海軍省)

通信書記補 甘利 茂

池田 末治

○ 雜 款

○憲兵服務細則左ノ通改正シ昭和十七年一月一日ヨリ施行スル旨憲兵司令官ヨリ報告アリタリ

憲兵服務細則 昭和十六年十一月一日 憲一庶第一五〇號

第一條 憲兵ノ軍事警察ハ主トシテ左ノ各號ニ關スル事項ニ任スルモノトス

海軍諸務  
則登載

一 軍ノ保安ニ關スル事項

二 軍事行政ニ伴フ障礙除去ニ關スル事項

三 統帥ニ伴フ障礙除去ニ關スル事項

四 軍事司法警察ニ關スル事項

第二條 前條ノ外憲兵ハ軍ニ關係アル一般善行ノ視察

軍關係諸機關等ノ活動ニ寄與スルコトニ努ムヘシ

第三條 服務ニ方リテハ法規ノ精神ニ照ラシ重點的運

海軍公報(部内限)第三千九百四十六號

昭和十六年十一月十五日

一五〇九

0537

用ヲ的確ニシ且事犯ノ處理ハ嚴正公明ヲ旨トスヘシ  
而シテ常ニ關係部隊等ト緊密ナル連絡ヲ保持シ之等  
ニ及ス危害ヲ未然ニ防遏スルニ努ムルヲ要ス

第四條 朝鮮憲兵隊司令官及憲兵隊長ハ憲兵司令官ノ  
認可ヲ請ケ朝鮮憲兵隊司令部及憲兵隊本部ニ所要ノ  
分課ヲ設クルコトヲ得

第五條 憲兵隊長ハ職務上必要ト認メタルトキハ一時  
所要ノ兵力ヲ其ノ管區内ニ於テ適宜運用スルコトヲ  
得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ憲兵司令官ニ報告シ且  
所要ニ應ジ關係軍司令官若クハ師團長又ハ鎮守府司  
令長官若クハ部要港司令官ニ通報スヘシ

第六條 憲兵分隊長ハ憲兵隊長ノ認可ヲ請ケ憲兵分隊  
又ハ憲兵分遣隊ニ所要ノ勤務班ヲ設ケ班長ヲ命課ス  
ルコトヲ得

勤務班長ハ憲兵分隊長又ハ憲兵分遣隊長ノ命ヲ承ケ  
勤務ニ服ス

第七條 憲兵分駐所長ハ憲兵分隊長又ハ憲兵分遣隊長  
ノ命ヲ承ケ勤務ニ服シ且部下ヲ指揮監督ス

第八條 憲兵分隊長、憲兵分遣隊長、憲兵分駐所長ハ  
左ノ事件ニ付テハ直屬上官ニ報告スルト同時ニ憲兵

司令官ニ直報スヘシ  
一 宮城、行在所、離宮、御用邸、宮邸等ノ災害若  
クハ其ノ虞アルトキ

二 軍用建造物、軍用施設等ノ災害  
三 軍人軍屬其ノ他軍ニ關スル重要事件  
四 治安維持上緊急且重大ナル事件

五 其ノ他一般ノ耳目ヲ惹クヘキ重要事件  
六 憲兵兵器ヲ使用シタルトキ

第二乃至第六ノ報告ニハ特ニ軍ニ關係ノ有無、侵害  
ノ程度、影響等ヲ明カナラシムルヲ要ス

第九條 非違通報又ハ違式告知ハ關係部隊長ニ對シ憲  
兵隊長、憲兵分隊長、憲兵分遣隊長ニ於テ口頭又ハ  
書類ヲ以テ爲スヘシ

管區外ノ部隊長ニ對スル通報等ハ所管憲兵隊長又ハ  
憲兵分隊長若クハ憲兵分遣隊長ヲ經由スルモノトス

第十條 陸(海)軍軍法會議法第七十四條ニ依リ陸  
(海)軍司法警察官ノ職務ヲ行フ者ノ警察事務申左  
ノ各號ニ關スル搜查ニ付テハ速カニ其ノ移送ヲ受ク  
ルヲ例トス但シ檢察官ヨリ別ニ指示アリタル場合ハ  
此ノ限ニアラス

- 一 檢證ヲ伴フ犯罪事件
- 二 部外又ハ他部隊ニ關係アル犯罪事件
- 三 其ノ他複雑ナル犯罪事件
- 第十一條 憲兵下士官及兵長警察勤務ニ服スルトキハ左ノ要具ヲ携帯スルモノトス
  - 一 勤務手牒
  - 二 捕繩
  - 三 呼笛
  - 四 綑帶包

前項要具ノ制式ハ別ニ定ムルトコロニ據ル  
 第十二條 憲兵ハ上官ノ命令アルトキ又ハ時機猶豫スヘカラサルトキハ制規ノ服裝ヲ爲サスシテ勤務ニ服スルコトヲ得

○將旗移揚  
 第七戰隊司令官ハ十一月十二日將旗ヲ鈴谷ニ移揚セリ

○司令潜水艦一時變更  
 第二十八潜水隊司令ハ十一月十一日司令潜水艦ヲ一時伊號第五十九潜水艦ヨリ伊號第六十潜水艦ニ變更、同十三日復歸セリ

○郵便物發送先  
 當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記  
 司令、機關長宛 陸月  
 軍醫長宛 如月  
 主計長宛 望月  
 (第三十驅逐隊)

海軍荒木部隊(固有有名第一航空隊)  
 自今 臺灣臺南州新豐郡  
 臺南海軍航空隊内  
 (第一航空隊)

○事務所移轉ニ關スル件照會  
 從來當部ハ本部、支部共海口ニ於テ執務中ノ處本十五日ヨリ本部ヲ三亞ニ移轉分離ノコトト相成候條書類物件等送付方共ノ他ニ關シ可然御取計ヲ得度  
 追テ十一月十五日以後當部機構ハ左記ノ通ニ有之候

配給所別部	所在地	記	事
本部	三亞		
支部	海口	臨時資金前渡官吏事務ハ海口支部ニ於テ行フ	
海防配給所	海防		
廣東供給所	廣東		
廈門配給所	廈門		

0539

西貢配給所 西貢

○各種練習生採用試験問題ニ關スル件照會  
首題ノ件本船任務行動ノ都合上聯合試験ニ參加セシメ  
難キニ付成ベク早目ニ直送方御取計相成度  
(特設運送船明石山丸)

○定期航空座席使用ニ關スル件照會  
中華航空株式會社經營定期航空便指定座席使用ニ關シ  
テハ左記ニ據ラレ度  
追而昭和十五年支那方面艦隊第二九一號ノ二昭和十  
五年八月二日海軍公報(部内限)參照及同第三九三  
號ノ三ハ自然消滅ノ義ト了知相成度

記

- 一、本座席ノ管制應ヲ別表第一ノ通トス
  - 二、本座席ノ使用ニハ管制應ノ交付スル海軍航空旅行  
證券(別表第二様式)ヲ行使スルモノトス  
本證券ハ第一海軍經理部長發行シ豫メ各管制應ニ配  
布スルモノトス
  - 三、中華航空株式會社トノ座席借上契約書第二條ノ後  
拂證ハ航空旅行證券ニ後拂證ト記入シタルモノヲ以  
テ之ニ充ツ
- 前號ノ記入ハ各管制應ニ於テ之ヲ行フ  
(別表二葉、附表一葉添)  
(支那方面艦隊)

0540

別表第一

(昭和十六年十一月十五日海軍公報(部内限))

管 制 應	航 空 路
上海在勤海軍武官府	上海ヨリ廣東、臺北、青島、北京、漢口方面行
臺北在勤海軍武官府	臺北ヨリ廣東、上海行
南支海軍特務部	廣東ヨリ臺北、上海、海口、汕頭行
青島方面特別根據地隊	青島ヨリ北京、上海、大連行
南京在勤海軍武官府	南京ヨリ上海、漢口、北京方面行
漢口海軍特務部	漢口ヨリ上海方面行
北京在勤海軍武官府	北京ヨリ大連、天津、包頭、上海、南京方面行
海南海軍特務部	海口ヨリ廣東方面行

備考

- 一、座席ノ指定ヲ受ケントスル者ハ定期便三日前迄ニ管制應ニ照會スルモノトス
- 二、管制應同一定期便ニ附表ニ定ムル借上座席割當數以上ノ座席又ハ借上座席ナキ定期便ノ座席ヲ使用セントスルトキハ定期便ノ二日前迄ニ中華航空株式會社ト協議スルモノトス但シ急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニアラズ
- 三、管制應借上座席ヲ使用セザル場合ハ定期便毎ニ其ノ前日一二〇〇迄ニ其ノ旨會社ニ通知シ一般乗客用ニ充テシム
- 四、定期航空路線ノ中間發着地ニ管制應ナキ場合其ノ地ヨリ搭乘セントスル者ハ出發地又ハ最寄ノ管制應ヨリ座席ノ指定ヲ受クルモノトス
- 五、管制應アル地ト管制應ナキ地トヲ往復スル場合ハ復航ニ付テモ當該管制應之ヲ管制スルモノトス
- 六、各管制應ハ相互連絡ノ上他ノ管制ニ屬スル座席ヲ指定シ得ルモノトス但シ此ノ場合ニ於ケル旅行證券ハ出發應ニ於テ發行シ得ルモ他ノ管制ニ屬スル區間ニ對シテハ別ニ之ヲ發行スルモノトス

0541

別表第二  
(表面)

<p style="text-align: center;">甲第 號</p> <p style="text-align: center;">海軍航空旅行證券</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">區 間</td> <td style="width: 25%;">自 至</td> <td style="width: 25%;">搭 乘 者 官 氏 名</td> <td style="width: 25%;">搭 乘 日 月</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">管制應 契印</p>	區 間	自 至	搭 乘 者 官 氏 名	搭 乘 日 月					<p style="text-align: center;">乙第 號</p> <p style="text-align: center;">海軍航空旅行證券</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">搭 乘 日 月</td> <td style="width: 25%;">管 制 應 名</td> <td style="width: 25%;">搭 乘 者 官 氏 名</td> <td style="width: 25%;">區 間 自 至</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">管制應 契印</p> <p style="text-align: center;">昭和 年 月 日發行</p> <p style="text-align: center;">發行擔任官 第一海軍經理部長</p>	搭 乘 日 月	管 制 應 名	搭 乘 者 官 氏 名	區 間 自 至				
區 間	自 至	搭 乘 者 官 氏 名	搭 乘 日 月														
搭 乘 日 月	管 制 應 名	搭 乘 者 官 氏 名	區 間 自 至														

(裏面)  
(昭和十六年十一月十五日海軍公報(部内限))

注 意

一、甲號證券ハ旅行終了後所轄長ニ提出スルモ  
ノトス

二、所轄長ハ其ノ都度又ハ當月分ヲ取纏メ翌月  
十五日迄ニ第一海軍經理部ヘ送付スルモノト  
ス

注 意

一、乙號證券ハ中華航空株式會社經營航空路ニ  
シテ海軍指定ノモノノ定期航空便ニ搭乘スル  
場合同會社又ハ同出張所係員ニ手交スルモノ  
トス

二、本證券ハ公務ヲ以テ旅行スル場合ニ限り使  
用スルモノニシテ所要事項ハ總テ發行者之ヲ  
記入シ本人ニ交付スルモノトス

三、本證券ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得ス

四、本證券ハ一人一枚ヲ使用スベシ

五、本證券ヲ紛失シタルトキハ番號其ノ他必要  
事項ヲ速ニ管制應ニ届出スベシ

六、無賃携帶シ得ベキ手荷物ノ制限及携貨制限  
外手荷物ニ對スル運賃ハ普通乗客ニ同ジ

0542

附表

(昭和十六年十一月十五日海軍公報(部内限))

管制應ニテ單獨隨意ニ使用シ得ル借上座席割當表		出 發 地		行									
管 制 應	地名	上海	南京	漢口	青島	北京	臺北	廣東	天津	大連	海口	汕頭	包頭
上海在勤海軍武官府	上海		四	三	一								
南京在勤海軍武官府	南京	一											
漢口海軍特務部	漢口		三										
青島方面特別根據地隊	青島	一											
北京在勤海軍武官府	北京												
臺北在勤海軍武官府	臺北	一											
南支海軍特務部	廣東	一											
海南海軍特務部	海口							二					

0543

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千九百四十七號

海軍大臣官房

昭和十六年十一月十七日(月)

## ○ 令 達

官房機密第一〇六三四號  
 昭和十五年五月及同年九月採用ノ二年現役主計科士官  
 ニシテ海軍武官服役令第八條第一項ノ規定ニ依ル現役  
 ニ服スルコトヲ志願スル者ハ昭和二年達第一五三號ノ  
 様式ニ準ジ願書ヲ昭和十七年三月三十一日迄ニ順序ヲ  
 經テ提出スベシ  
 昭和十六年十一月十七日  
 海軍大臣

## ○ 通 牒

官房機密第一〇五九一號  
 昭和十六年十一月十五日  
 海軍省 副官  
 關係各廳長殿  
 命令、日令、會報等送付ノ件照會

内令提  
要登載

## ○ 辭 令

海軍省へ送付ノ首題書類ハ自今左記ノ通海軍省副官宛  
 送付相成度  
 追テ海軍省各局へノ直送ハ取止メラレ度  
 記  
 一、命令作、訓示 二通  
 一、命令、法令、日令、告示類 六通  
 一、一般會報 九通  
 一、副長會報 九通  
 一、郵便物發送先通知 二通

(各通)

海軍大佐 竹内 平七  
 同 服部 勝二  
 海軍中佐 棚町 整  
 同 小笠原 章一  
 海軍少佐 糸永 冬生  
 同 益山 光哉

海軍公報(部内限) 第三千九百四十七號

昭和十六年十一月十七日

一五二三

0544



同 江藤 恒丸  
 海軍軍醫中佐 柿坂 羽介  
 海軍軍醫少佐 宮田 豊  
 昭和十七年度海軍豫備學生(飛行科)採用試験臨時委員ヲ命ス

海軍機關中佐 山田 慈郎  
 同 臺 由男  
 海軍機關少佐 堀山 榮  
 同 成尾 浩  
 同 山田 武  
 同 猪原 武城  
 海軍機關大尉 塚田 正  
 海軍軍醫少佐 久地井 鎮世  
 同 田原 倫典  
 海軍軍醫大尉 林 正義  
 同 山崎 武夫

昭和十七年度海軍豫備學生(整備科)採用試験臨時委員ヲ命ス(以上共計海軍省)

海軍中佐 樋端 久利雄  
 海軍少佐 吉富 寛二  
 海軍機關中佐 櫻井 金藏

(各道)

海軍藥劑大佐 村田 秀  
 海軍主計中佐 塩見 秀次郎  
 海軍主計少佐 中野 英夫  
 海軍造船少佐 富田 範郎  
 海軍技師 西原 貢

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

海軍造船大佐 井上 恒六  
 購買名簿調査委員會委員ヲ免ス(以上共計同)

第二課勤務ヲ命ス(均同海軍省軍務局)

○ 雜 款

○將旗一時移揚  
 第一遣支艦隊司令長官ハ十一月十三日將旗ヲ一時漢口方面特別根據地隊ニ移揚セリ

○將旗復歸  
 第二艦隊司令長官ハ十一月十三日將旗ヲ愛宕ニ復歸セリ

○司令艇復歸  
 第五十二驅潛隊司令ハ十一月十一日司令驅潛艇ヲ第十

七昭南丸ヨリ第十五福榮丸ニ復歸セリ

○郵便物發送先

大島根據地隊司令部、大島防備隊、大島通信隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

鹿兒島縣古仁屋郵便局氣付

一、海軍大野一郎部隊司令部

二、海軍熊澤舛藏部隊

三、海軍武田哲郎部隊

(大島根據地隊司令部)

自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送ノコトニ取計相成度

十一月二十日迄ニ到達見込ノモノハ

臺中郵便局氣付海軍近藤部隊

其ノ後ハ

佐世保郵便局經由

第四十一海軍軍用郵便所氣付(軍事郵便)

海軍近藤部隊

(美幌海軍航空隊)

○事務所設置

集應艦裝具事務所ヲ十月六日長崎海軍監督官事務所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○移轉

阪神海軍部、大阪地方海軍人事部ハ本月十五日左記へ移轉シ自後大阪警備府開廳事務ハ阪神海軍部ニ於テ行

大阪北區玉江町一丁目二四番地

阪神海軍部 土佐堀

二八六〇番、二八六一番  
二八六二番(交換ニ入ル)  
二八六三番、二五〇二番

二五〇〇番、二五〇一番

電話

大坂特設隊 同

一八〇番  
二二三〇番、二三三三番  
二三三一番  
二三三二番

大坂海軍部 同

二三三三番  
二三三四番

大坂海軍部 同

○追加

十月一日官房機密第八九三號航空兵器供給所名稱變更ノ件通牒(十月二十日海軍公報(部内限)掲載)中左記欄大分海軍航空隊内吳海軍軍需部倉庫ノ次ニ左記ヲ追加ス

供來ノ航空兵器供給所名稱  
宇佐海軍航空隊内 第十一海軍航空廠器材部宇佐補給  
吳海軍軍需部倉庫 工場

海軍公報(部内限)第三千九百四十七號

昭和十六年十一月十七日

一五一五

0546

○徵備船山霜丸行動豫定  
地名 着

横須賀	十一月十六日	十一月十四日
吳世保	十一月十九日	十一月十八日
西戸崎	十一月二十四日	十一月二十三日
神戸	十一月二十六日	十一月二十五日
横須賀	十一月二十九日	十一月二十七日
大坂	十二月二日	十二月一日
吳	十二月四日	十二月三日

○正誤  
本月十五日雜款欄中事務所移轉ニ關スル件照會末尾ニ  
〔(海南海軍軍需部)〕ヲ脱ス

0547